

夏は楽しく過ごせましたか？まだまだ暑い日が続きますが、朝夜には少しずつ涼しさを感じるようにはなりました。夏を元気いっぱいにご過ごした子どもたちの体はとても疲れています。体調管理には十分に気を配り、しっかり休息をとって残暑を乗り切りたいですね。



防災週間（8月30日～9月5日）

9月1日は防災の日、9月9日は救急の日です。もしもの時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。

また、お子さまにも火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう。

おうちの中にも事故やけがを招く危険な物がたくさんあります。事故を防ぐために、確認をしてみましょう。

- 子どもの手の届く場所に置いてはいけない物
（薬、洗剤、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針、子どもが飲み込める大きさの細かい物など）
- 踏み台になる物はベランダに置かない
- コンセントなどをいたずらできないようにする
- 遊び食べに注意する（食べ物が喉に詰まることがある）
- 浴室には子ども1人で勝手に入れないように工夫する

子どもの事故に関しまして、消費者庁発行の「子供の事故防止ハンドブック」というものがあり、年齢・月齢に応じた生じやすい事故と注意ポイントなどが記載されております。無料で読むことができますので、是非一度ご覧ください。



感染症について…

今夏は小児においてRSウイルスやパラインフルエンザウイルスなどの流行が見られました。両方とも高熱やひどい呼吸器症状（咳や喘鳴、息苦しさなど）が特徴的で特に年齢の低い乳児では重症化することもあり、年齢が高くなるにつれ一般的な風邪と同様の症状のみになると言われています。

現在、新型コロナウイルスのデルタ株が猛威を振るっております。従来の型では小児への感染力はそれほど強くないと言われておりましたが、デルタ株は感染力がとても強く、子どもの感染者数も増加している状況です。園内でも換気や消毒を行い感染対策には努めておりますが、体調が悪い場合は、感染拡大を防ぐためにも休養・早めの受診をお願いします。感染症と診断されない場合でも、無理をせず、呼吸器症状が改善してからの登園にご協力をお願いします。

また保育園ではマスクの着用は保護者の方の判断とさせていただいております。しかし、咳などの症状がある幼児クラスのお子様に関しましては、他のお子様への感染予防のためマスクの着用をお願いします。



秋は薄着の服装で

9月も後半になると肌寒く感じる朝が増え、ついつい子どもに厚着をさせたいくなります。しかし、本格的な寒さを迎える前のこの時期に薄着の習慣を付けておけば、かぜを引きにくい体になります。外気を肌で直接感じることで自律神経が整い、病気への抵抗力が高まるからです。“大人より1枚少なめ”を目安に、薄手の衣服を重ねるなどして、じょうずな体温調節を行いましょう。

